

チャレンジの 指針

成功は失敗を越えた先にある。
だからこそ恐れるな。
夢に向かって頑張る姿は、
いつの時代も美しい。

「会社を辞める時は次が決まっていた訳ではなかったの、かなり不安でしたね。電車に乗って出会うの場を提供する「ラブ電」実行委員長や青年活動グループ「あぜみち」を立ち上げるなど、さまざまな活動を手がけていた市橋司さん。仕事との両立が難しくなり、考えた結果、退社を決意した。「もったいない」とよく言われました(笑)。

元々まちづくりに興味があった訳ではない。勤務先である福井鉄道の協力が必要となる「ラブ電」に関わり、実行委員長に推されたことがきっかけだった。「ラブ電」では関係者や企業との交渉など、企画を成立させるための過程が貴重な体験になったと感じた。また「あぜみち」でも、昨年5回目を数えた

「菊・地球博」などのイベントや企画での経験がスキルアップに繋がっていることを実感している。

今は「あぜみち」代表を譲り、事務局長として後輩をサポートする市橋さん。「経験者なので代表としての悩みを共有できるんですよ」。悩みがわかるからこそ伝えたいのは、失敗も一つの経験ということ。乗り越えれば次に繋がることを知っているからだ。

理想としていた、地元に着し魅力を発信するという今の仕事に就けたのも、これまでの経験が繋がった結果。現在は「ふくい若者チャレンジクラブ」役員としても活動を展開する。どんなことも今後に必ず活き、新しい展開が生まれると信じている。

失敗の過程や経験が視野を広げ、
新たなものを生み出す。

青年活動グループ「あぜみち」事務局長

いち はし つかさ
市橋 司

越前市出身。武生工業高校を卒業後、福井鉄道株式会社に就職。「ラブ電」を企画し、実行委員長となる。同社を退社後、ロハス越前にてグリーンツーリズム活動を手がけ、昨年4月からは「越前市ハツ杉森林学習センター」にて、さまざまな事業の企画を担当。「ふくい若者チャレンジクラブ」の丹南地区役員も務める。



「ふくい若者チャレンジクラブ」丹南地区では、毎月テーマを決め座談会を開催。初回のテーマは「現代の食」



「菊・地球博」の様子。企画は「自分たちも楽しめるもの」が基本。キクレンジャーショーも大盛り上がり!



チャレンジするって 素晴らしい!

ホームページ・facebookページ
「ふくい若者チャレンジクラブ」から
イベント情報などを発信中!

仲間をみつけて新しいことにチャレンジ!

「ふくい若者チャレンジクラブ」メンバー募集中

あなたも「ふくい若者チャレンジクラブ」に登録して、メンバーと新しいことを始めてみませんか。子どもたちの自然体験や、街なかでの音楽ライブやアートイベントの開催など、いろんな分野で活動する若者やこれから新しく何かを始めたいと思っている若者の活動を応援します!

詳しくはこちら ▶

事務局 福井県総務部男女参画・県民活動課 若者チャレンジ支援室 TEL:0776-20-0237
youthchallenge@pref.fukui.lg.jp FBページ「ふくい若者チャレンジクラブ」